第 15 講 【地誌編】東南アジア，南アジア
PART 6 現代のインド，周辺の国々

Chapter 1　現代のインド

目標
農村部での人口増加率が高いことに起因する，課題を理解しよう。
現在のカースト制と職業選択の状況について，理解しよう。

1　インドの農村における課題

・インドの**人口増加率**は高く，現在の総人口は〔　　　〕**億人**を超える（2020 年）。
・政府の**家族計画**の呼びかけを受けて，**都市**では出生率の低下が見られるものの，国民の**約 7 割**が住む〔　　　　〕では，依然高い出生率が維持されている。
　→農村では，子どもを〔　　　　　　〕と考え，伝統的に**多産**を好む傾向があるため。
　→農村では，**教育**が行きわたらず，〔　　　　　　〕が特に低い。特に〔　　　　〕は教育の機会に恵まれず，結婚年齢・出産年齢も若いため，社会進出が進まない。
・農村における過度な人口増加は**貧困**を招き，農村から都市への**出稼ぎ**も多い。

インドの農村

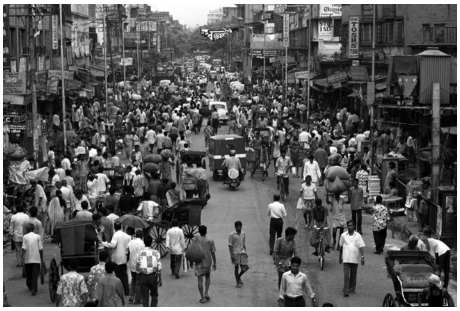
女性への教育活動

2　インドの都市における課題

・農村より多くの人口が**雇用**を求め，**都市**へと移動するため，大都市のさらなる**巨大化**が進む。**ムンバイ・コルカタ・**〔　　　　　　　〕など。

・しかし，全ての人々が職に就けるわけではなく，十分な収入が得られない人々は〔　　　　　　　〕での生活を余儀なくされる。

・スラムに住む人々の多くは**インフォーマルセクター**（非公式部門）の仕事に従事する。



コルカタ市街地

コルカタのスラム

3　現代のカースト制

・〔　　　　　　　　　〕**制**：古代**バラモン教**の考え方を含む，インドの身分制度（**ヴァルナ**）と職業区分制度（**ジャーティ**）が合わさった制度。**ヒンドゥー教**社会の根幹をなす。

・身分には**上下関係**があり，**差別感情**が助長されてきた。

・現在では，カースト制による差別は**憲法**で〔　　　　　〕されており，婚姻や職業選択の自由も認められている。

・農村部など一部地域ではカースト制の考え方が根強く残っており，下位カースト出身者への支援も続けられている。

まとめ

教育が行きわたらず識字率が低い。人口に対する職が十分でない。
カースト制は憲法で否定されており，婚姻や職業選択は自由である。

Chapter 2　南アジアの国々

目標
パキスタンの農業について，理解しよう。
バングラデシュの地形的特徴と，気象災害の関連を理解しよう。

1　南アジアの主要国

国	人口（2020年）	GNI（2019年）	1人当たりGNI（2019年）
インド	13億8,000万人	28,433億ドル	2,120ドル
パキスタン	2億2,089万人	2,726億ドル	1,410ドル
バングラデシュ	1億6,469万人	3,169億ドル	1,940ドル
ネパール	2,914万人	345億ドル	1,230ドル
スリランカ	2,141万人	816億ドル	4,010ドル

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

2　パキスタン

観点	説明
地形	・広い範囲が〔　　　　　　　　〕川の流域に含まれ，**沖積平野**が広がる。
気候	・ほとんどが〔　　　　〕**気候**。最暖月平均気温が**30℃**を超える酷暑となる。
宗教・言語	・国民の９割強が〔　　　　　　　　　〕を信仰。 ・主に〔　　　　　　　　　〕語と**英語**が使用される。
農業	・河川流域で〔　　　　〕の生産が多く，主食となっている。 ・灌漑による〔　　〕の栽培もなされ，輸出品となる。 ・パンジャブ地方では〔　　　　〕栽培が盛んで，世界第5位の生産量（2018年）。
工業	・**綿花**を活かした，**綿織物**や**衣類**の生産が多い。 ・伝統的に**皮革製品**の生産が盛んで，**サッカーボール**などスポーツ製品の生産と輸出も多い。
国際関係	・北東部の〔　　　　　　　　　〕**地方**はインドなどとの係争地域。

3 バングラデシュ

観点	説明
地形	・**ガンジス川**などがつくり出した巨大な〔　　　　　〕の上にあり，**低地**が多い。
気候	・熱帯に属し，**雨季**と**乾季**が明瞭。サバナ気候。 ・〔　　　　　　　　　〕の影響でたびたび**高潮**が発生。低地が多いため被害が拡大しやすい。
宗教・言語	・国民の約 9 割が〔　　　　　　　　〕を信仰。**ヒンドゥー教徒**も約 1 割を占める。 ・公用語は**ベンガル語**。
農業	・**ヒンドスタン平原**での稲作。 ・三角州では〔　　　　　　　〕の栽培が盛んで，世界第2位の生産量（2019年）。
工業	・輸出品目の80％以上が〔　　　　〕。多くの外国企業の工場が進出している。 ・低地で栽培されたジュートを用いた**繊維工業**も盛んである。
国際関係	・隣国ミャンマーとは〔　　　　　　　　〕難民の受け入れを巡って対立している。

4 スリランカ

観点	説明
地形	・**安定地域**の島嶼国。「涙の形の島」。
気候	・広くが〔　　　　　　　〕**気候**。年間を通じて降水量が多く，**季節風**の影響も強い。
宗教・言語	・**南部**には**上座仏教**の信者が多く，**シンハラ語**（インド・ヨーロッパ系）を用いる。 ・**北部**は**ヒンドゥー教徒**が居住し，〔　　　　　〕語（ドラヴィダ系）を使う。
農業	・宗主国である〔　　　　　　　〕によって**プランテーション**が拓かれた。 ・南西部の斜面を中心に〔　　〕の栽培が行われ，輸出される。
工業	・低賃金であることから，外国の**縫製工場**が進出。
内紛	・**シンハラ人**と**タミル人**の対立による**内戦**が長く続いた。

まとめ

主食の小麦と輸出向けの米，工業の原料としての綿花栽培が盛ん。

国土が三角州上にあり，標高が低い。サイクロンの通り道にあたり，高潮が洪水を引き起こすことがある。

第15講　PART6　確認問題

1　インドの都市と農村の人口割合として正しいものはどれか。

①　都市：農村＝３：７　②　都市：農村＝５：５
③　都市：農村＝７：３　④　都市：農村＝９：１

2　インドの農村について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

①　伝統的に多産を好む傾向があることから，依然高い出生率が維持されている。
②　農村における人口増加をきっかけに農業が発展し，農村部は豊かになりつつある。
③　収入を求め，農村から都市への人口移動が多い。
④　農村では女性の結婚年齢・出産年齢も若く，女性の社会進出が進んでいない。

3　現在巨大化が進む，インド東部の大都市はどこか。

①　アグラ　②　ヴァラナシ
③　コルカタ　④　ゴア

4　カースト制について述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

①　カースト制は，インドの身分制度と職業区分制度を内包した制度である。
②　カースト制は，バラモン教を引き継ぐヒンドゥー教社会の根幹であった。
③　カースト制による身分には上下関係があり，長く差別感情を助長するものであった。
④　現在でも憲法でカースト制が認められており，人々は職業を自由に選ぶことができない。

5 南アジアの内陸国であり，１人当たり GNI が最も低い国はどこか。

① スリランカ ② ネパール
③ パキスタン ④ バングラデシュ

6 パキスタンについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① 国土の広い範囲が，インダス川の流域に含まれる。
② 国民の約９割が，ヒンドゥー教を信仰している。
③ 綿花の栽培が盛んで，綿織物や衣類の生産が多い。
④ カシミール地方は，インドなどとの係争地域である。

7 バングラデシュについて述べた以下の文のうち，**正しくないもの**はどれか。

① ガンジス川などがつくり出した巨大な三角州の上にあり，低地が多い。
② イスラーム教徒が約９割を占めるが，ヒンドゥー教徒も約１割を占める。
③ 低地で栽培されたサトウキビを用いた工業が盛んである。
④ 隣国のミャンマーとは，ロヒンギャ難民の受け入れを巡って対立している。

8 スリランカ南部に居住する民族の名称と，その民族が主に信仰する宗教の組み合わせとして正しいものはどれか。

① シンハラ人：上座仏教
② シンハラ人：ヒンドゥー教
③ タミル人：上座仏教
④ タミル人：ヒンドゥー教

第15講　PART6　確認問題 解答

1 解答：①　インドの総人口**約 13 億人**のうち，**約 7 割**が**農村**に居住している。

2 解答：②　インドでは，特に**農村部**で過度な人口増加が進み，**貧困**も深刻化している。資金を持たないため農業技術を発展させることができず，余剰人口は都市へと流出する。

3 解答：③　インドでは多くの人口が雇用と高賃金を求め，農村からムンバイ，**コルカタ**，デリーなどの大都市へと移動する。

4 解答：④　現在，**カースト制**は**憲法で否定**されており，婚姻や職業選択は自由である。また，ICT 技術者などカースト制にしばられない職業も登場している。

5 解答：②　ヒマラヤ山脈の内陸国である**ネパール**では工業化が進まず，1 人当たり GNI は南アジアで最下位である（2019 年）。

6 解答：②　パキスタンで国民の 9 割強が信仰する宗教は，**イスラーム**である。

7 解答：③　バングラデシュでは，ガンジス川流域の低地で生産される**ジュート**を用いた繊維工業が見られる。

8 解答：①　スリランカ南部に居住する民族は，主に**上座仏教**を信仰する**シンハラ人**。ヒンドゥー教徒のタミル人は主に北部に居住している。